
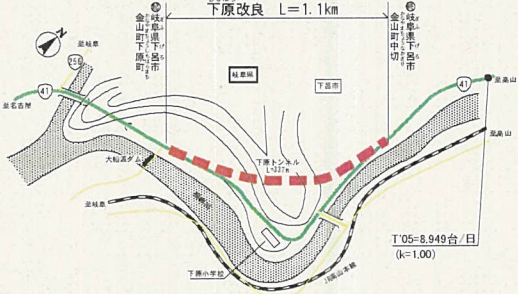


再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名 一般国道41号 <small>しもはらかいりょう</small> 下原改良	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 中部地方整備局
起終点 自：岐阜県下呂市金山町下原町 至：岐阜県下呂市金山町中切	延長 1.1 km	
事業概要 一般国道41号は、名古屋市を起点として、犬山市、美濃加茂市・高山市などの主要都市を経て富山県富山市に至る延長約250kmの幹線道路である。このうち、下呂市金山町下原地区は、現道が線形不良区間であり、また防災指定箇所にも指定されている。下原改良は、こうした危険箇所の解消、交通安全を確保するための線形改良及び生活環境の改善等を図ることを目的とした事業である。		
H3年度事業化 H一年都市計画決定 H13年度用地着手 H19年度工事着手		
全体事業費 約37億円 事業進捗率 18% 供用済延長 0.0km		
計画交通量 11,500台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 2.1	総費用 (残事業)/ (事業全体) 19/37億円 (事業費：14/32億円) (維持管理費：4.5/4.5億円)
総便益 (残事業)/ (事業全体) 40/40億円 (走行時間短縮便益：28/28億円) (走行費用減少便益：9.4/9.4億円) (交通事故減少便益：2.5/2.5億円)		基準年 平成20年
感度分析の結果 (※2) 残事業について感度分析を実施 交通量変動 : B/C=2.3 (交通量+10%) B/C=1.9 (交通量-10%) 事業費変動 : B/C=2.0 (事業費+10%) B/C=2.3 (事業費-10%)		
事業の効果等 ・安全で安心できる暮らしの確保 (国道41号現道に通学路指定あり) ・災害への備え (第1次緊急輸送路、防災指定箇所の回避) 他5項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 ・国道41号美濃加茂下呂車線強化促進期成同盟会を中心に、下原改良の早期開通を求めた活発な要望活動が行われている		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・国道41号の交通量および事故件数は、事業採択時からほぼ横ばい		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・用地買収率95%		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・平成20年代後半の供用に向けて事業推進中		
施設の構造や工法の変更等 ・トンネル断面の見直し等を実施し、道路構造の見直し等で約1.0億円のコスト削減を図る		
対応方針 交通安全対策事業として事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。